

(3ページから続く)

事ばかりに出会っているんですよ。機械は命令した通りにしか動かないか

ら、そのような単純作業は任せて、人間にしかできない業務はもっとあると思います。

するわけですが、自分が受けた恩を次の世代に返していくように上手く継続しています。

師というライセンスがあるので、そのライセンスを武器にいろいろなことができるわけです。そういう意味では、どんどんプロモーションをかけてほしいですね。

駆け出しの薬剤師であれば、レジデントとして2年間の間に全ての業務を経験した上で、病院に残ってさらに専門性を深めていくのもいいでしょうし、他の病院に異動して様々な経験を積んでいくのも良いと思います。そういった人材の流動の中で、自分が経験した良い部分は広め、足りない部分はフィードバックしていくサイクルができるのが私の理想ですね。

子育て中のスタッフが活躍中

終身雇用にこだわる必要はなし

—大学の授業や一般教養以外で得た知識で役に立つことはどんなことでしょうか。

石井 たくさんあると思います。患者さんと日々コミュニケーションを取るために雑学がとても役に立っています。学生の時から会話の引き出しを増やしておいたほうがいいですね。

内海 薬学生って、他の学部よりも忙しいと思うんですね。勉強も授業も多いし、研究もあります。学業が忙しいので、どうしても視野が狭くなってしまいがちな部分があります。石井先生のおっしゃる通り、会話の引き出しを増やす、つまりいろいろなことに興味を持ち、勉強以外のこともできる範囲でやったほうがいいと思います。薬剤師になっても役に立ちますよ。

—休日はどうのように過ごしているのでしょうか。

内田 休日といっても、1~2割ぐらいは仕事をしていて、残りがプライベートという感じです。私は楽器が趣味で音楽をやっていますが、休日の使い方は人によってさまざまだと思います。休日でも自分の担当している患者さんが心配になる時がありますから、オンとオフを100%切り離せるかというの難しいと思うんですよ。医療従事者とはそういうものでしょうか。

—薬剤師の中で結婚、出産を経験し、子育てをしている方はどのぐらいいらっしゃいますか。

石井 たくさんいますよ。子育て中のスタッフには、もちろん生活を考えながら仕事をやってもらっています。例えば、D I 室は17時には終わるので、なるべく「お母さん薬剤師」はD I 室に配属して、早く帰れるようにシフトを工夫しています。それでも、お母さん方はとても頑張り屋で、週末でも自

主的に出勤していたりするんですよ。

私は管理職として、スタッフの家族の出産予定日を把握しています。男性の場合でも、妻の出産前後には夜勤に当たらないように配慮しています。その分は、他のスタッフが埋め合わせを



大学病院は、やはり難しい疾患を抱えた患者さんが多くいますし、薬をたくさん使う患者さんもいるわけですから、大学病院でしか経験できないことを生かして、病院のみならずいろいろな分野でも活躍してほしいと思っています。終身雇用にとこだわらずに、もっと将来について柔軟に考えてみてはいかがでしょうか。

勉強と遊び バランス良く 多様性に触れる経験が役立つ

—大学院に進学することについてはどう思われますか。

内田 私が進学した当時は4年制薬学教育の時代だったので、薬学部を卒業して薬剤師免許を取得し、その後2年間の修士課程、4年間の博士課程に進みました。まずデメリットから言いますと、お金がかかることと、博士課程修了後の年齢ですかね。いまは6年制ですから、大学を現役で卒業して、ストレートで大学院に進学したとしても就職するのは29歳になりますし、20代の後半という青春時代の一番いい時期を研究室に閉じこもることにな

ります。それをどう考えるかということでしょうね。

私は現時点で大学院に進んだことを後悔していません。大学院で行った研究がいまの薬剤師業務に役立っているかということ、直接関わっていません。ただ、そういうことではなく、大学院では疑問点を見つけ、それに対してどうアプローチして結果を出せば知りたかったことが分かるのか、それをどう論文にまとめて発信していくのかという一連の思考プロセスが身につきます。その経験は、病院薬剤師になった現在でも役に立っています。

—学生時代に頑張ったことや心がけたことはありますか。

内海 私は「とにかくいろんなことをやる」ことを目標にしています。勉強も部活にも力を入れていました。学生時代は剣道をやっていたのですが、勉強しながら週5回は剣道に打ち込んでいましたね。もちろん、アルバイトもしていましたし、友達と遊んだり飲み会に参加するのも好きで、いろんなことを楽しんでいました。このように全てを後悔のないようにしたいと思っています。学生時代にできることは全てやろうという意気込みでした。

石井 私も部活に力を入れていましたね。全学部共通の部活に入っていましたので、学部を越えた交友関係がいまでも続いています。薬学部の中だけにこだわらず、いろんな人と出会い、



あなたの、 かかりつけ薬局へ。

あなたに寄り添い、健康をささえる
“いつもの窓口”になります。

 阪神調剤ホールディング株式会社

